

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10-31556 10031576 A

(43) Date of publication of application: 03 . 02 . 98

(51) Int. Cl.

G06F 3/16  
G06F 3/16  
G06F 17/22  
G06F 17/21  
G10L 3/00

(21) Application number: 08185106

(71) Applicant: PFU LTD

(22) Date of filing: 15 . 07 . 96

(72) Inventor: MIYAMA MASAYUKI

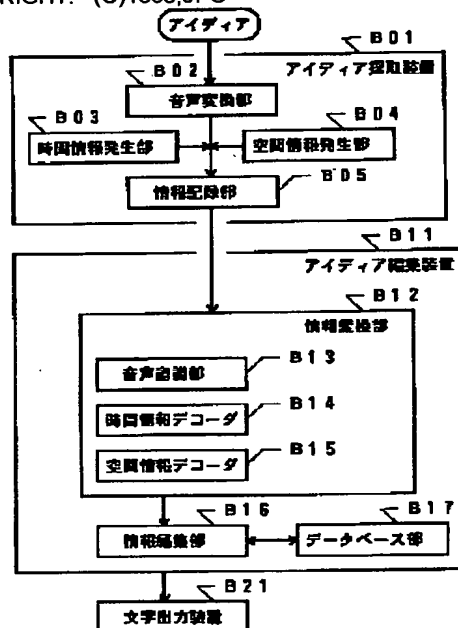
## (54) IDEA ACQUIRING SYSTEM

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

## (57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To securely accumulate ideas by means of a flash without omission by constituting a system with a portable idea adopting device recording and adopting the ideas by means of the flash and an idea compiling device compiling, fixing and accumulating the adopted ideas.

**SOLUTION:** The idea adopting device B01 constituted of the portable tape recording device and the like records and converts an idea content by the flash in a sound conversion part B02 and records it in an information recording part B05. Furthermore, a time information generation part B03 and a space information generation part B04 record recording time and place. In the information conversion part B12 of the idea compiling device B11, sound recorded in the information recording part B05 is made into sentences and decoders B14 and B15 convert time information and space information at the time of recording. An information compiling part B16 compiles sound information which is made into the sentence and stores it in a data base part B17. It is printed out if need in a character output device B21.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-31576

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月3日

(51) Int.Cl. <sup>9</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/16	3 2 0		G 0 6 F 3/16	3 2 0 A
	3 4 0			3 4 0 K
17/22			G 1 0 L 3/00	5 5 1 G
17/21			G 0 6 F 15/20	5 0 2 Z
G 1 0 L 3/00	5 5 1			5 0 3

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平8-185106

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月15日

(71) 出願人 000136136

株式会社ビーエフユー

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の  
2

(72) 発明者 深山 正幸

石川県河北郡宇ノ気町宇野気ヌ98番地の  
2 株式会社ビーエフユー内

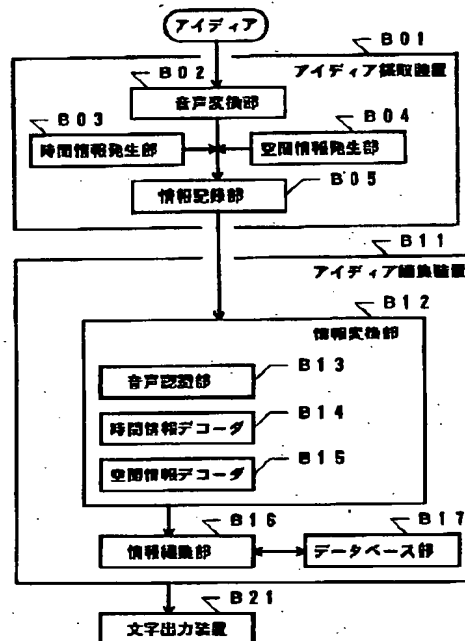
(54) 【発明の名称】 アイディア獲得システム

(57) 【要約】

【課題】 創造的思考の過程において、ひらめきによるアイディアを固定化して蓄積するための装置を提供する。

【解決手段】 アイディアがひらめいた時点で即座に対応する可搬型の録音装置を主体としたアイディア採取装置を用意し、同時に録音に際しては着想環境としての時間情報と空間情報を自動的に並行して記録する。また録音により採取したアイディアは、コンピュータシステムを主体としたアイディア編集装置により音声認識により文章化し、データベースとして蓄積する。

この発明によるアイディア獲得システムの原理図



(2)

特開平10-31576

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ひらめきによるアイデアを固定化し蓄積するアイデア獲得システムにおいて、ひらめきによるアイデアを録音採取する可搬型のアイデア採取装置（B01）と、採取したアイデアを編集して固定化し蓄積するアイデア編集装置（B11）とにより構成することを特徴とする、アイデア獲得システム。

【請求項2】 前記のアイデア採取装置（B01）は、ひらめきによるアイデアを録音採取する時刻を自動的に記録する時間情報発生部（B03）を持つことを特徴とする、請求項1に記載のアイデア獲得システム。

【請求項3】 前記のアイデア採取装置（B01）は、ひらめきによるアイデアを録音採取する場所を自動的に記録する空間情報発生部（B04）を持つことを特徴とする、請求項1に記載のアイデア獲得システム。

【請求項4】 前記の空間情報発生部（B04）は、自動測位システム（B07）と、特定の場所を規定して選択的にデータを提供する特定空間指定テーブル（B08）とを持つことを特徴とする、請求項3に記載のアイデア獲得システム。

【請求項5】 前記のアイデア編集装置（B11）は、録音採取したひらめきによるアイデアを文章データに変換する音声認識部（B13）を持つことを特徴とする、請求項1に記載のアイデア獲得システム。

【請求項6】 前記のアイデア編集装置（B11）は、録音採取したひらめきによるアイデアとともに記録した時間情報を文章データに変換する時間情報デコーダ（B14）を持つことを特徴とする、請求項1に記載のアイデア獲得システム。

【請求項7】 前記のアイデア編集装置（B11）は、録音採取したひらめきによるアイデアとともに記録した空間情報を文章データに変換する空間情報デコーダ（B15）を持つことを特徴とする、請求項1に記載のアイデア獲得システム。

【請求項8】 前記のアイデア編集装置（B11）は、音声認識部（B13）によって文章に変換したアイデア情報を編集し推敲する情報編集部（B16）を持つことを特徴とする、請求項1に記載のアイデア獲得システム。

【請求項9】 前記のアイデア編集装置（B11）は、情報編集部（B16）で編集し推敲したアイデア情報を保管管理するデータベース部（B17）を持つことを特徴とする、請求項1に記載のアイデア獲得システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、創造的な活動を行う過程で、ひらめきによるアイデアを記録して固定化し、固定化したアイデアを編集して発展させる技術に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 創造的な活動を進展させる過程の上で、ひらめきによるアイデアを発展させることは大切な要素のひとつである。

【0003】 ひらめきによるアイデアは、時間的あるいは空間的に通常の思考の流れとは特別な脈絡を持たないところで発生することが多く、通常は内容を記録して固定しておかなければそのまま消滅してしまう。

【0004】 ここでこの発明にかかる以下の用語について、その定義を述べる。

【0005】 アイディアとは、ここでは広く頭に浮かんだ情報全般を指し、思いついたこと、見聞きしたことへの感想、今後の予定、買い物メモ、住所、氏名、電話番号あるいは行動記録などといった内容の情報が、ここで定義するアイデアの内包する概念として捉えられる。

【0006】 ひらめきによるアイデアを固定化して蓄積する方法として、次に示すものがあげられる。

【0007】 1）メモ用紙に、アイデアのひらめいた時点でその内容を記入する。

【0008】 図6（a）によって説明する。アイデアのひらめいた時点で、あらかじめ用意しておいたメモ用紙にアイデア内容を記入する。記入に際して発想の日付あるいは発想を得た場所などのデータを併記することは、後日の整理統合の作業を円滑に行うのに有効な手段である。

【0009】 次いでメモ用紙を単独であるいは集約しながら整理統合する。整理統合したアイデアは、パソコンあるいはワープロ等を用いてデータベース化すればアイデア活用には有効である。

【0010】 2）パソコン、ワープロなどの電子機器に、アイデアのひらめいた時点でその内容を文章化して入力する。

【0011】 図6（b）によって説明する。アイデアのひらめいた時点で、パソコン、ワープロなどの電子機器を立ち上げてアイデア内容を入力する。入力の日付データは前記の電子機器の機能を活用するが、アイデアのひらめいた周囲環境については改めてデータを入力しておいたほうが後日の検索や整理統合作業に有利となる場合が多い。

【0012】 入力したアイデアデータは、データベース化すればアイデア活用には有効である。

【0013】 3）テープレコーダ等の録音装置を用いて、アイデアのひらめいた時点で内容を音声で吹き込む。

【0014】 図6（c）によって説明する。アイデアのひらめいた時点で、あらかじめ用意しておいたメモテープレコーダ等の録音機器にアイデア内容を言葉で吹き込む。吹き込みの際に発想の日付あるいは発想を得た場所などのデータを追加して吹き込んでおくことは、後日の整理統合の作業を円滑に行うのに有効な手段である。

(3)

特開平10-31576

る。

【0015】次いで前記の録音機器に吹き込んだ内容を再生して文章に書き換える。そして書き込んだ文章を単独であるいは集約しながら整理統合する。整理統合したアイディアは、パソコンあるいはワープロ等を用いてデータベース化すればアイディア活用に有効である。

【0016】

【発明が解決しようとする課題】前記のごとく、従来の技術によりひらめきによるアイディアを固定化して蓄積する方法には、次に示すような問題点がある。

【0017】1) メモ用紙に、アイディアのひらめいた時点でその内容を記入する。

【0018】前述の方法によれば手軽にアイディアの内容を記録することが可能であるが、記録したメモ用紙等は散逸し易く、記録したアイディアを整理統合する作業に多大な労力を要する。

【0019】またアイディア発想の時間等の環境データを記入しておかなければ、アイディアを整理統合する際に整理が困難な場合がある。

【0020】2) パソコン、ワープロなどの電子機器に、アイディアのひらめいた時点でその内容を文章にして入力する。

【0021】前述の方法によればアイディアの内容を確実に記録することが可能であり、さらに記録したアイディアを整理統合する作業も容易に実行できるが、記録に必要な電子機器は立ち上げに時間を要するので、常に待機状態にしておかなければならない。

【0022】3) テープレコーダ等の録音装置を用いて、アイディアのひらめいた時点で内容を音声で吹き込む。

【0023】前述の方法によれば手軽にアイディアの内容を記録することが可能であるが、アイディアの内容が音声のままでは記録したアイディアを整理統合することができないので、結局は録音した音声を再生して文章に置き換えるという作業が必要である。

【0024】以上に述べたごとく、ひらめいたアイディアを採取する手段においてはその環境である時と場所による制約があり、また採取したアイディアをもとに思考を発展させる手段においては前述の記録の散逸を防止して個々のアイディアを効果的に統合するための方法に問題点が残る。

【0025】

【課題を解決するための手段】前記の問題点を解決するために、この発明では次に示す手段を取った。

【0026】1) どこにでも持ち運びできる可搬型のアイディア採取装置と、採取したアイディアを文章化して編集し、さらにデータとして蓄積するアイディア編集装置との組み合わせとすることによって、それぞれの装置の持つ機能を有効に活用する環境を構築する。

【0027】2) ひらめいたアイディアは、前記のアイ

ディア採取装置の情報記録部に録音して記録することによって、時と場所による制約を超えたアイディア採取の環境を構築する。

【0028】3) アイディア採取装置では、録音実施の日付、場所等の着想環境に関するデータを自動的にデジタル信号として発生させ、録音時の記録に付加することによって、アイディア採取時の環境再現をはかる。

【0029】4) 録音されたアイディアは、アイディア編集装置の音声認識部により自動的に文章に変換し、必要な編集を行ってデータベースとして保管することにより、効率的なアイディア発展の環境を構築する。

【0030】

【発明の実施の形態】この発明によるアイディア獲得システムは、次に示すような形態を取る。

【0031】1) アイディア獲得システムは、ひらめいたアイディアを録音する可搬型のアイディア採取装置と、録音したアイディアを編集するアイディア編集装置よりなる。

【0032】この手段により、ひらめいたアイディアを即座に記録し、さらに記録したアイディアを編集して蓄積するという作用を得る。

【0033】2) アイディア獲得システムを構成するアイディア採取装置で、アイディアを録音する時刻を自動的に記録する。

【0034】この手段により、ひらめいたアイディアの時間的な着想環境を記録するという作用を得る。

【0035】3) 前記のアイディア採取装置で、アイディアを録音する場所を自動的に記録する。

【0036】この手段により、ひらめいたアイディアの空間的な着想環境を記録するという作用を得る。

【0037】4) 前記のアイディア採取装置で、アイディアを録音する場所のデータとして自動測位システムにより空間位置データを発生する方法と、指定して入力する特定の指定空間データとの2種類のデータを用意する。

【0038】この手段により、ひらめいたアイディアの空間的な着想環境の記録を自動的に着想者の環境にあわせて具体的なデータにして生成するという作用を得る。

【0039】5) アイディア獲得システムを構成するアイディア編集部に内蔵する音声認識部で、アイディア採取装置により録音したアイディアを文章に変換する。

【0040】この手段により、ひらめいたアイディアは文章データとして固定化するという作用を得る。

【0041】6) 前記のアイディア編集装置に内蔵する時間情報デコーダで、アイディア採取装置により録音したアイディアとともに記録した時間情報を時間データとして再現する。

【0042】この手段により、ひらめいたアイディアは着想時の時間環境を併記して記録するという作用を得る。

(4)

特開平10-31576

【0043】7) 前記のアイデア編集装置に内蔵する空間情報デコーダで、アイデア採取装置により録音したアイデアとともに記録した空間情報を場所データとして再現する。

【0044】この手段により、ひらめいたアイデアは着想時の空間環境を併記して記録するという作用を得る。

【0045】8) 前記のアイデア編集装置に内蔵する情報編集部で、音声認識部により文章化したアイデアを編集する。

【0046】この手段により、ひらめいたアイデアを修正し、タイトルの付与あるいは必要なキーワード等の追加を行うという作用を得る。

【0047】9) 前記のアイデア編集装置に内蔵するデータベース部に、文章化したアイデアを保存する。

【0048】この手段により、ひらめいたアイデアを保存して、後日の検索に備えるという作用を得る。

【0049】

【実施例】この発明による代表的な実施例を図1ないし図5によって説明する。

【0050】請求項1に記載の発明の代表的な実施例について、図1により説明する。この発明によるアイデア獲得システムは、アイデア採取装置B01とアイデア編集装置B11とで構成する。

【0051】アイデア採取装置B01は、たとえばテープ録音装置あるいはミニディスク録音装置等の可搬型の録音装置を主体とし、音声によるアイデア内容を録音する音声変換部B02と情報記録部B05とで成り立っている。さらに時刻を表示する時計である時間情報発生部B03を有し、また録音した場所を特定する空間情報発生部B04を有する。

【0052】アイデア編集装置B11は、たとえばコンピュータを主体とし、前記のアイデア採取装置B01にて採取したアイデアを受ける情報変換部B12を内蔵する。前記の情報変換部B12は、アイデア採取装置B01の情報記録部B05にて記録した音声を文章化する音声認識部B13および時間情報を変換する時間情報デコーダB14と録音した場所を特定する空間情報を変換する空間情報デコーダB15とを有する。

【0053】さらにアイデア編集装置B11には、情報編集部B16を有して文章化した音声情報を編集し、編集結果はデータベース部B17に格納する。あるいはまた必要に応じてアイデアの情報内容を文字出力装置B21にてプリントアウトする。

【0054】請求項2に記載の発明の代表的な実施例について、図2により説明する。図2(a)に示すごとく、アイデア採取装置B01に内蔵する時計部B06において、たとえば年、月、日、時、分、秒のごとく常に時間を計測している。当該アイデア採取装置B01の電源を投入した時刻を計測して時間情報発生部B03

に伝達し、前記時間情報発生部B03はその時刻情報を情報記録部にある録音媒体の冒頭に記入する。

【0055】請求項3に記載の発明の代表的な実施例について、図2により説明する。図2(a)に示すごとく、アイデア採取装置は空間情報発生部B04を有し、ひらめきによるアイデアを録音する際に、録音する時刻に関する情報とともに録音する場所に関するデータを記録する。

【0056】請求項4に記載の発明の代表的な実施例について、図2により説明する。図2(a)に示すごとく、アイデア採取装置B01に内蔵する自動測位システムB07は、たとえばGPS(Global Positioning System)のごとく測定体の緯度経度等の座標値を自動的に割り出して表示するシステムによって前記アイデア採取装置B01の所在する位置の座標値データを発生させ、空間情報発生部B04より情報記録部B05にある録音媒体に記入する。

【0057】また前記の自動測位システムB07と並列に接続する特定空間指定テーブルB08が内蔵され、操作者の指示によって選択的に空間データが入力される。

【0058】前記の特定空間指定テーブルB08は図2(b)に示す形式を持ち、特定コードに対応する場所の定義を操作者があらかじめ設定してある。

【0059】前記の空間情報発生部B04は通常は自動的に自動測位システムB07よりデータを受けるが、操作者の指示によって特定空間指定テーブルB08にある特定空間指定コードが記録される。

【0060】したがってこの発明によるアイデア採取装置B01によるアイデア採取は、図3に示すような操作とよる。

【0061】ステップS01でアイデア採取装置B01の電源スイッチを投入する。電源がONになると、時間情報発生部B03は自動的に電源投入時刻を時計部B06より得て、その時刻を情報記録部B05にある録音媒体に記録する。

【0062】次いでアイデア採取装置B01は特定の空間か否かを表示等で操作者に問い掛け、特定空間を指定する場合はステップS04で特定空間のコード指定を要求する。そして選択スイッチで特定空間コードを指定すると、空間情報発生部B04は特定空間コードを情報記録部B05にある録音媒体に記録し、すぐさま録音可能な状態となり、ステップS06でひらめきによるアイデアを録音する。

【0063】なお、特定空間の指定を行わないと指示すると、空間情報発生部B04は自動測位システムより得た緯度経度等の座標値を情報記録部B05にある録音媒体に記録し、すぐさま録音可能な状態となり、ステップS06でひらめきによるアイデアを録音する。

【0064】録音を終了すると、ステップS07で電源スイッチを切断することで、アイデア採取操作はすべ

(5)

特開平10-31576

て終了する。

【0065】アイディア採取装置B01により採取した録音テープによるアイディア情報記録の実施例を図5

(a)に示す。この例では記録の先頭に時間情報Aについて空間情報Bを記録し、最後に音声情報Cを記録して1ブロック分のアイディア情報とするが、空間情報Bと音声情報Cとの記録の順番は必ずしもこの例によらなくてもよい。

【0066】請求項5に記載の発明の代表的な実施例について、図1により説明する。アイディア編集装置B11に内蔵する情報変換部B12は音声認識部B13を有し、前記の音声認識部B13はアイディア採取装置B01で録音した音声によるアイディア情報を文字情報に変換する。

【0067】なおアイディア採取装置B01で採取したアイディア情報は、録音媒体をアイディア編集装置B11に接続した読み取り装置（図示せず）に装着してアイディア情報を入力してもよいが、アイディア採取装置B01をアイディア編集装置B11に直接接続してアイディア情報を入力してもよい。

【0068】請求項6に記載の発明の代表的な実施例について、図1により説明する。アイディア編集装置B11に内蔵する情報変換部B12は時間情報デコードB14を有し、前記の時間情報デコードB14はアイディア採取装置B01で記録した時間情報を必要な数値情報の形式に変換する。

【0069】請求項7に記載の発明の代表的な実施例について、図1により説明する。アイディア編集装置B11に内蔵する情報変換部B12は空間情報デコードB15を有し、前記の空間情報デコードB15はアイディア採取装置B01で記録した空間情報を必要な数値情報の形式に変換する。

【0070】請求項8に記載の発明の代表的な実施例について、図1により説明する。アイディア編集装置B11に内蔵する情報編集部B16は、情報変換部B12において録音媒体より変換したアイディア情報を表示装置（図示せず）に表示し、操作者との対話を通して推敲および編集を行い、当該アイディア情報の完成度を高める。同時に編集の過程を通じてアイディアのタイトルおよび必要なキーワードを設定する。

【0071】請求項9に記載の発明の代表的な実施例について、図1により説明する。アイディア編集装置B11に内蔵するデータベース部B17は、情報編集部B16において編集の終了したアイディア情報を格納する。

【0072】前記のデータベース部B17に格納するアイディア情報は、図5(b)に示すごとく1個の録音チャンスによるアイディアを1ブロックとするが、必要に応じてブロックの分割または統合を情報編集部B16において行う。

【0073】また前記のデータベース部B17に格納し

たアイディア情報は、随時情報編集部B16において再編集を行い、増補および展開作業を行う。

【0074】したがってこの発明によるアイディア編集装置B11によるアイディア編集は、図4に示すような流れとなる。

【0075】ステップS11でアイディア編集装置B11に録音媒体をセットする。次いでステップS12で情報変換部B12のソフトを起動させると、先ずステップS13で前記媒体中の時間情報を探し出してアイディア情報の単位ブロックの先頭とする。

【0076】ステップS14で時間情報デコードB14が該当する時間情報を文章化して表示装置に表示する。次いでステップS15で、表示している時間情報が編集対象としているアイディア情報の採取時刻であるか否かを確認する。

【0077】アイディアの採取時刻が目的とするアイディアの採取時刻と一致する場合は、ステップS16に進んで空間情報デコードB15が空間情報の文章化を行い、次いでステップS17に進んで音声認識部B13が録音内容を文章化する。

【0078】またアイディアの採取時刻が目的とするアイディアの採取時刻と一致しない場合は、ステップS13に戻って再度媒体中で対象となる時間情報を探し出す。

【0079】文章化された前記の時間情報、空間情報および音声情報は、ステップS18で表示装置に表示されてアイディアの情報編集部B16により文章の推敲および編集等を行って、より完成度の高い文章にする。

【0080】ステップS19でアイディア情報に適切なタイトルおよびキーワードを設定して付加する。

【0081】ステップS20でアイディア情報をデータベース部B17に格納する。なお、格納するアイディア情報は図5(b)に示すように、日付、着想場所、タイトル、キーワードおよびアイディア内容を記載し、さらに先頭にはこのデータベース部B17における一連の整理番号を付して1ブロックとする。

【0082】なおアイディア採取装置B01より転写した録音データは、このデータベース部B17に関連ファイルとして前記の文書化されたアイディア情報の整理番号と同期した番号体系のもとで格納保存される。

【0083】また、アイディア採取装置を使用する音声の録音によらずして、直接情報編集部B16において新規ファイルとして作成することにより、新たなアイディアの採取を行ってもよい。

【0084】

【発明の効果】この発明により、以下に示すような効果が期待できる。

【0085】1) アイディア獲得システムは、ひらめいたアイディアを録音する可搬型のアイディア採取装置と、録音したアイディアを編集するアイディア編集装置

(6)

特開平10-31576

よりなる。

【0086】この手段により、ひらめいたアイディアはアイディア採取装置によって時間的あるいは空間的な制約にしばられずに即座に記録でき、さらに記録したアイディアはアイディア編集装置によって文章化して編集するので、ひらめきによるアイディアをもれなく確実に蓄積できるという効果を得る。

【0087】2) アイディア獲得システムを構成するアイディア採取装置で、アイディアを録音する時刻を自動的に記録する。

【0088】この手段により、ひらめいたアイディアの時間的な着想環境を記録するので、創造的な思考における時間の経過要素をチェックできるという効果を得る。

【0089】3) 前記のアイディア採取装置で、アイディアを録音する場所を自動的に記録する。

【0090】この手段により、ひらめいたアイディアの空間的な着想環境を記録するので、着想時の環境を再現してアイディア内容を確認できるという効果を得る。

【0091】4) 前記のアイディア採取装置で、アイディアを録音する場所のデータとして自動測位システムにより空間位置データを発生する方法と、指定して入力する特定の指定空間データとの2種類のデータを用意する。

【0092】この手段により、ひらめいたアイディアの空間的な着想環境の記録を着想者の環境にあわせて具体的なデータにするので、着想時の環境をより具体的に再現してアイディア内容を確認できるという効果を得る。

【0093】5) アイディア獲得システムを構成するアイディア編集装置に内蔵する音声認識部で、アイディア採取装置により録音したアイディアを文章に変換する。

【0094】この手段により、ひらめいたアイディアは文章データとして固定化するので、効率的にアイディアの蓄積を推進できるという効果を得る。

【0095】6) 前記のアイディア編集装置に内蔵する時間情報デコーダで、アイディア採取装置により録音したアイディアとともに記録した時間情報を時間データとして再現する。

【0096】この手段により、ひらめいたアイディアは着想時の時間環境を再現するので、容易に着想時の環境を再現できるという効果を得る。

【0097】7) 前記のアイディア編集装置に内蔵する空間情報デコーダで、アイディア採取装置により録音し

たアイディアとともに記録した空間情報を再現する。

【0098】この手段により、ひらめいたアイディアは着想時の空間環境を再現するので、容易に着想時の環境を再現できるという効果を得る。

【0099】8) 前記のアイディア編集装置に内蔵する情報編集部で、音声認識部により文章化したアイディアを編集する。

【0100】この手段により、ひらめいたアイディアを修正し、必要なキーワード等を追加するのみで容易にアイディアの固定化と発展とをはかることができるという効果を得る。

【0101】8) 前記のアイディア編集装置に内蔵するデータベース部に、文章化したアイディアを保存する。

【0102】この手段により、ひらめいたアイディアを保存して検索を行うことができるので、より高度なアイディア開発と、個々のアイディアの組み合わせによる新しい発想の追求を行うことが容易に行えるという効果を得る。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明によるアイディア獲得システムの原理図。

【図2】この発明にかかるアイディア採取装置の実施例を示す図。

【図3】この発明によるアイディア採取のタイミングチャート。

【図4】この発明によるアイディア編集のタイミングチャート。

【図5】この発明による代表的なデータ構成例を示す図。

【図6】従来技術によるアイディア採取装置の原理図。

#### 【符号の説明】

B01…アイディア採取装置

B03…時間情報発生部

B04…空間情報発生部

B07…自動測位システム

B08…特定空間指定テーブル

B11…アイディア編集装置

B13…音声認識部

B14…時間情報デコーダ

B15…空間情報デコーダ

B16…情報編集部

B17…データベース部

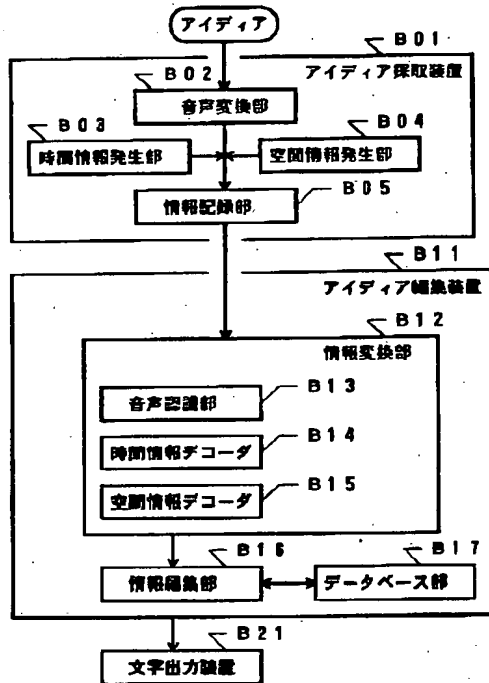


(7)

特開平10-31576

【図1】

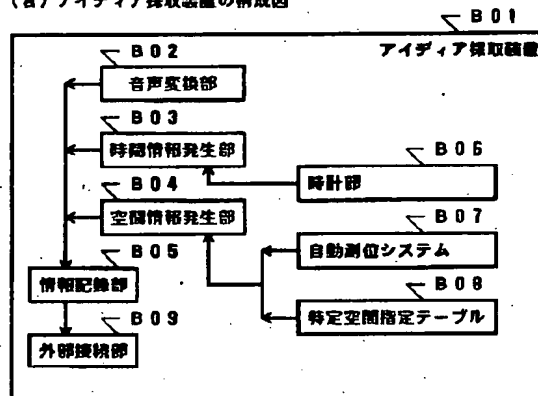
この発明によるアイデア獲得システムの原理図



【図2】

この発明にかかるアイデア採取装置の実施例を示す図

(a) アイデア採取装置の構成図



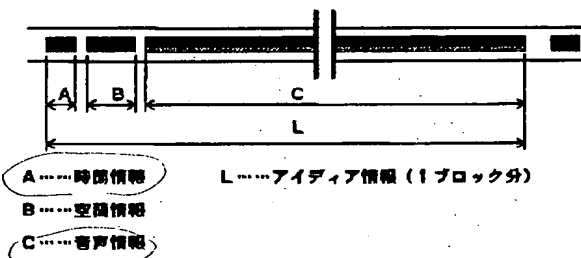
(b) 特定空間指定テーブルの構成例を示す図

01	自席
02	実験室
03	会議室
04	通勤途中（出勤時）
05	通勤途中（帰宅時）
06	自宅
10	

【図5】

この発明による代表的なデータ構成例を示す図

(a) 録音データの一例を示す図



(b) 編集後のデータファイルの一例を示す図

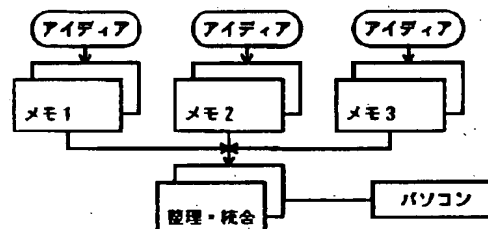
番号	日付	着想場所
タイトル		
キーワード		
アイデア内容		
番号	日付	着想場所
タイトル		

1ブロック

【図6】

従来技術によるアイデア獲得システムの原理図

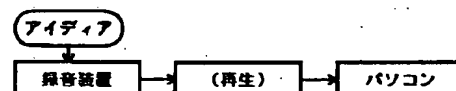
(a) メモ用紙による運用例



(b) 電子機器による運用例



(c) 録音装置による運用例

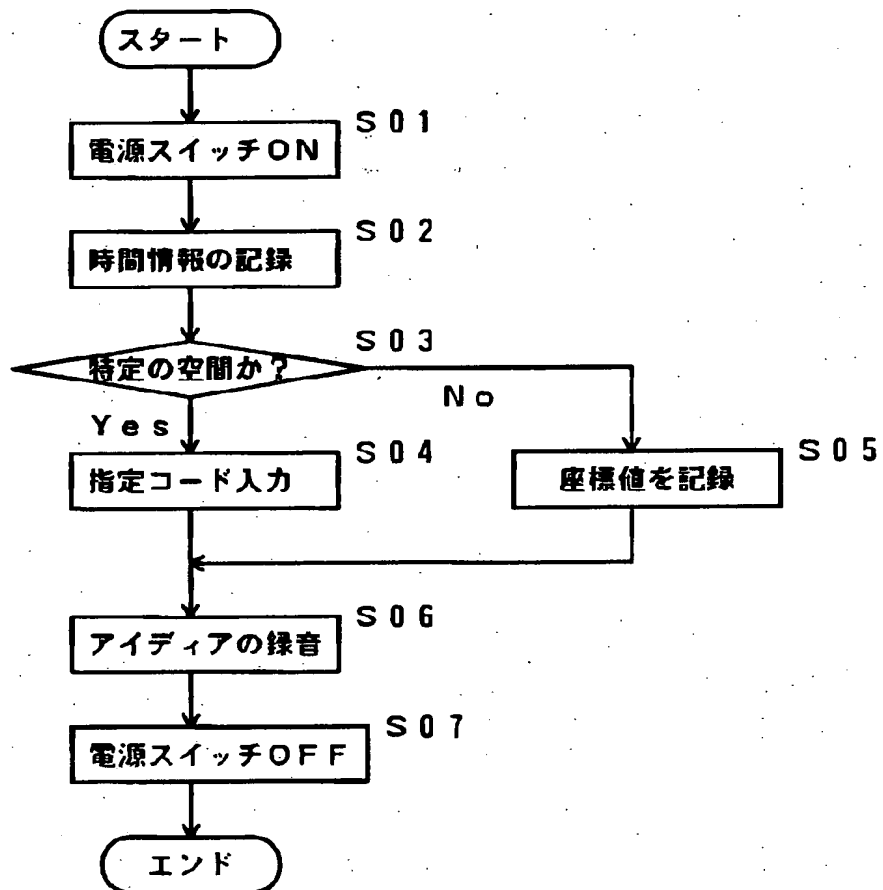


(8)

特開平10-31576

【図3】

この発明によるアイデア採取のタイミングチャート

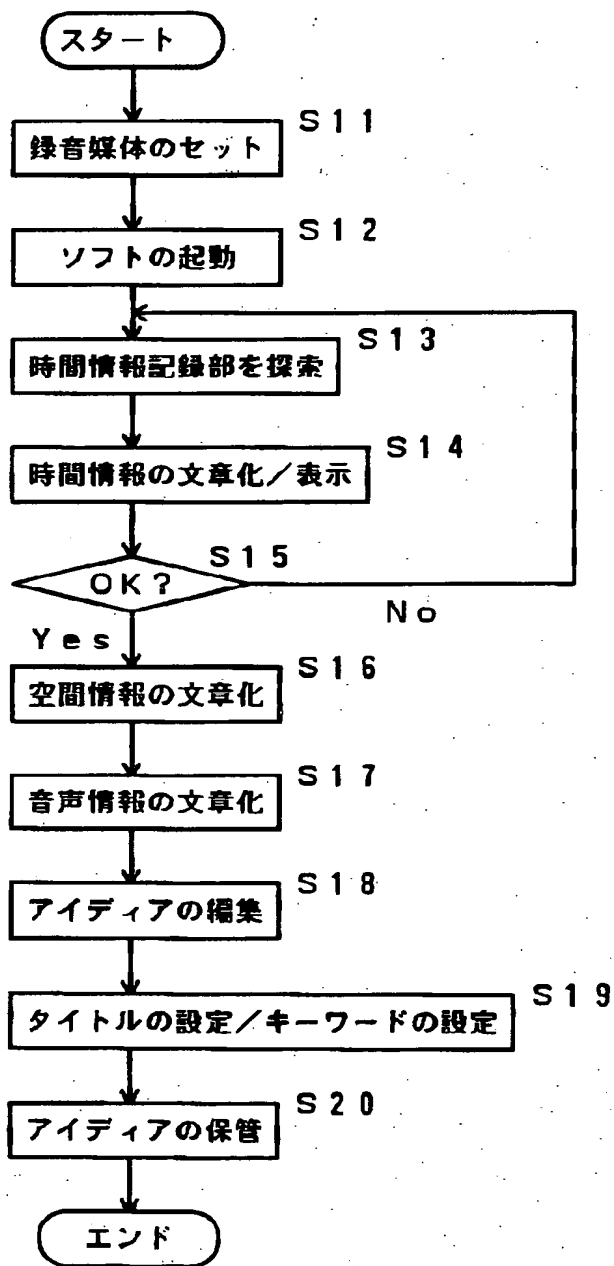


(9)

特開平10-31576

【図4】

この発明によるアイデア編集のタイミングチャート



フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

FI

G06F 15/20

技術表示箇所

590J